

環境経営レポート

山陽製紙株式会社

2021年度 第65期

2022年10月5日 発行

対象期間2021年10月1日～2022年9月30日

目次

P 1	ご挨拶
P 2	経営理念／環境経営方針
P 3	会社概要
P 4	組織図
P 5	環境負荷の実績と推移
P 6	環境目標及びその実績（全社）
P 7	環境目標及びその実績（事務・営業）
P 8	環境目標及びその実績（工場・東京）
P 9	環境関連法規制等の遵守状況
P 10～P 14	環境活動の紹介①～⑤
P 15	既存事業製品の紹介
P 16～P 17	新事業の紹介①②
P 18	工場見学＆紙すき体験
P 19	総括
巻末資料	バリューチェーンマップ （SDGsマッピング）



ご挨拶

P1

『「紙創り」を通してお客様と喜びを共有し、環境に配慮した循環型社会に貢献すること』を基本理念として、日々精進しております。

どうしたら自然と共生できるかということを常に考え、そのために自然を守る活動や地球環境負荷低減活動に、全社員で積極的に取り組む会社でありたいと思います。

エコアクション 21 の活動を通して、より一層の理念の浸透を目指します。

山陽製紙株式会社 代表取締役

原田 六次郎





経営理念／環境経営方針

P2

私たちは、設立 50 周年を期にこれからの 50 年を見据え、経営理念を刷新しました。
わが社が設立 100 周年を迎えた時、今よりも更に緑豊かな地球、様々な生命の宿る地球であることを目指して、日々の企業活動を続けて参ります。

経営理念

『私たちは紙創りを通してお客様と喜びを共有し、
環境に配慮した循環型社会に貢献します。』

- ・私たちは希少価値のある紙をお客様と共に創ります
- ・私たちはお客様と共に成長発展することを喜びとします
- ・私たちは資源として使った地球の財産を守り、再生し、循環型社会に貢献します。

環境経営方針

山陽製紙は、地球環境を守ることが全人類の最重要課題の一つであることを認識し、どうしたら自然と共生できるかということとを常に考え、環境問題に全社員で積極的に取り組みます。

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②使用原材料の省資源、廃棄物の 3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④循環資源を活かし、環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑤グリーン購入（環境に配慮した資材の購入）の推進
- ⑥化学物質の適正管理
- ⑦環境人財の育成

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

制定日：2007 年 11 月 13 日 / 改訂日：2018 年 10 月 30 日



会社概要

P3

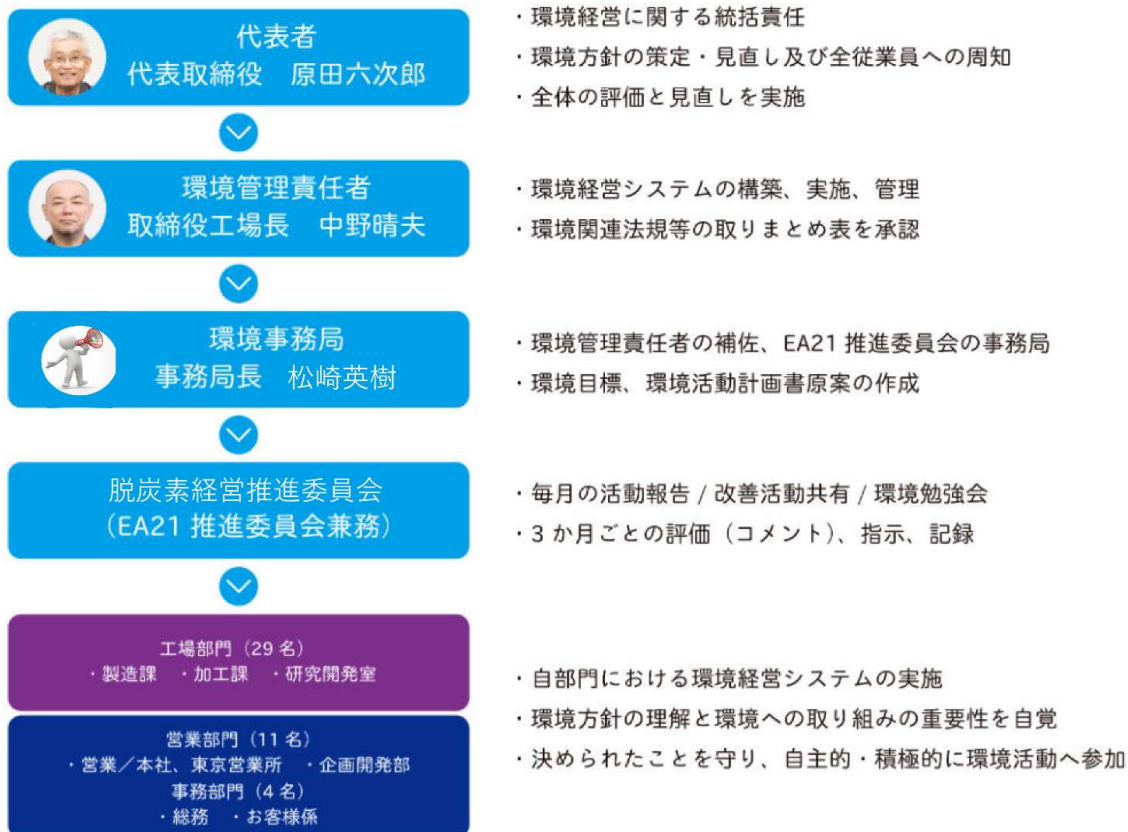
代表者	代表取締役 原田六次郎
社員数	44 名
創業	昭和 3 年 3 月
設立	昭和 32 年 12 月
本社工場	大阪府泉南市男里 6-4-25
東京営業所	東京都千代田区岩本町 2-17-2 秋葉原サウスイーストビルディング 8F
事業内容	紙類の企画、製造・販売、並びに紙再生サービス
営業目的	各種クレープ紙の製造及び販売 自社ブランド商品（SUMIDECO、crep、PELP!）の企画・販売 電子部品用層間紙の製造および関連資材の販売 その他オーダーメイド再生紙の製造 他
事業規模	製品売上高／ 10 億 7,000 万円 主要製品生産量／ 3,645 t／年
主要施設	土地／ 10,400 m ² 、建物 7,100 m ² 設備／抄紙機 2 台、スリッター設備一式、フレキソ印刷機、平判断裁機、 シートマシン一式、活性炭ろ過方式排水処理設備、常設ギャラリー 他
認証取得	ISO9001（2001 年～）、エコアクション 21（2008 年～）、FSC®CoC 認証（2020 年～）





組織図

P4



(2022年10月1日現在)

各部門での取り組み内容

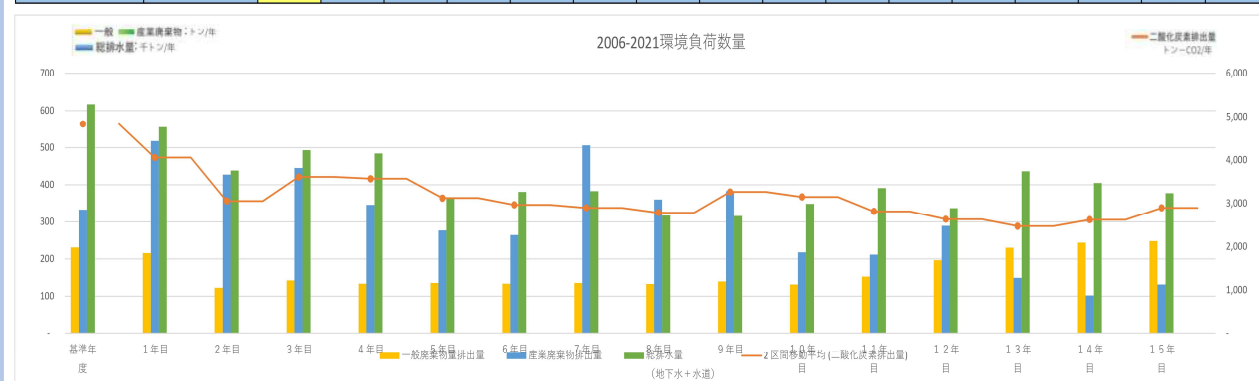
CO ₂ 排出量削減		水資源の節水	
・ 電力の削減 (生産量当たり使用量の削減)	・ 電力の削減 (電気使用量の削減)	・ 放流水の削減 (生産量当たり使用量の削減)	・ 水道水の削減
・ ボイラー燃料削減	・ 自動車燃料削減	・ 水道水削減	
工場部門	事務・営業部門	工場部門	事務・営業部門

廃棄物削減		グリーン関係	
・ 一般廃棄物削減	・ 一般廃棄物削減	・ グリーン調達	・ 環境に配慮した製品の販売促進
・ 産業廃棄物削減		・ 工場立地法対策	・ グリーン購入
		・ 缶 / ペットボトル分別	
工場部門	事務・営業部門	工場部門	事務・営業部門

主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,746,319	2,494,192	2,620,106	2,898,280
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	トン	197	230	244	248
産業廃棄物排出量	トン	289	149	102	132
水使用量	m ³	337,000	436,000	405,223	367,800
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.240	0.240	0.240	0.240
		みんな電力		kg-CO ₂ /kWh	

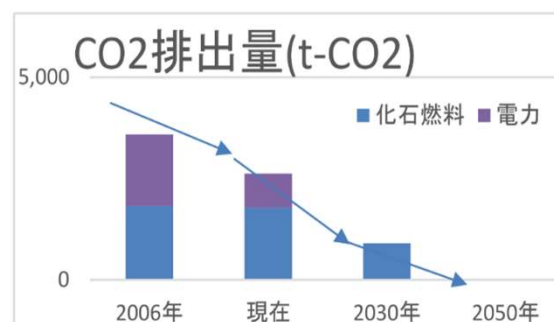
項目	単位	2006年 第50期 基準年度	2007年 第51期 1年目	2008年 第52期 2年目	2009年 第53期 3年目	2010年 第54期 4年目	2011年 第55期 5年目	2012年 第56期 6年目	2013年 第57期 7年目	2014年 第58期 8年目	2015年 第59期 9年目	2016年 第60期 10年目	2017年 第61期 11年目	2018年 第62期 12年目	2019年 第63期 13年目	2020年 第64期 14年目	2021年 第65期 15年目
二酸化炭素排出量	トン-CO ₂ /年	4,829	4,056	3,055	3,610	3,566	3,121	2,966	2,895	2,785	3,262	3,150	2,813	2,630	2,470	2,620	2,898
一般廃棄物排出量	トン/年	231	216	123	143	134	136	134	136	133	140	132	153	197	230	244	248
産業廃棄物排出量	トン/年	333	518	427	445	346	277	264	506	360	383	218	212	289	150	102	132
総排水量 (地下水+水道)	千m ³ /年	617	555	438	493	484	364	381	383	317	316	349	391	337	436	405	377



カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	化石燃	電力	対 策
2006年	1,821	1,763	
現在	1,779	842	省エネ+太陽光発電+再エネ電力
2030年	900	0	省エネ+太陽光発電+再エネ電力+クレジット
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+再エネ電力+クレジット



環境経営目標及びその実績

◇環境目標及びその実績【全社】

下段：対 基準年度削減率

年 度			2006年	判定	2021年		2022年	2023年
			基準年度	○×	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
			4,919,457					
二酸化炭素排出量削減	電力削減（工場）	排出量 (kg-CO2)	1,752,921	○	1,700,333 -3.0	1,427,485 -18.6	1,650,000 -5.9	1,600,000 -8.7
	電力の生産高当りの削減 （原単位）※1	(kWh/ Kg)	0.943	×	0.943 0.0	0.977 3.6	0.943 0.0	0.830 -12.0
	リフト燃料の削減	(kg-CO2)	25,384	×	11,000 -56.7	11,437 -54.9	11,000 -56.7	10,000 -60.6
	ガソリン（軽トラ用）	(kg-CO2)				70.0	70.0	60.0
	ボイラ燃料の削減	(kg-CO2)	1,780,518 2010→13平均値	×	1,700,001 -4.5	1,447,418 -18.7	1,500,000 -15.8	1,450,000 -18.6
	電力削減（本社事務所）	(kg-CO2)	10,439	×	3,779 -63.8	9,083 -13.0	8,800 -15.7	8,300 -20.5
		(kWh)		×	0.0	12,163	9,997	9,500
	自動車燃料の削減	(kg-CO2)	15,014	○	3,904 -74.0	2,787 -81.4	2,500 -83.3	2,500 -83.3
二酸化炭素排出量合計			3,584,276	○	3,419,017 -4.6	2,898,280 -19.1	3,172,300 -11.5	3,070,800 -14.3
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 （工場）	(kg/年)	231,150	×	200,014 -13.5	248,310 7.4	200,014 -13.5	180,000 -22.1
	産業廃棄物の削減 （工場）	(kg/年)	307,350	○	122,049 -60.3	131,980 -57.1	122,049 -60.3	100,000 -67.5
	一般廃棄物の削減 （本社事務所）	(kg/年)	392.4 07年暫定基準	○	280.2 -28.6	43.0 -89.0	200.0 -49.0	200.0 -49.0
	一般廃棄物の削減 （東京営業所）	(kg/年)	60 2017年度	○	35.0 -41.7	31.4 -47.7	35.0 -41.7	30.0 -50.0
	廃棄物排出量合計	(kg/年)	538,500	×	322,063 -40.2	380,290 -29.4	322,063 -40.2	280,000 -48.0
節 水	放流水の削減 ※2	生産高当削減 (m ³ /kg)	0.125	×	0.1 -20.0	0.422 237.6	0.100 -20.0	0.085 -32.0
	（原単位） （工場）	(m ³ /年)	616,221	×	390,068 -36.7	957,101 55.3	390,068 -36.7	350,000 -43.2
	水道水の削減 （工場）	(m ³ /年)	3,267	×	2,604 -20.3	3,679 12.6	2,604 -20.3	2,200 -32.7
	水道水の削減 （本社事務所）	(m ³ /年)	1,104	○	130 -88.2	91 -91.8	130 -89.1	120 -89.1
	総排水量合計	(m ³ /年)	619,488	×	392,672 -36.6	960,871 55.1	392,672 -36.6	352,200 -43.1
環境に配慮した製品の販売促進		売上高 (千円)	4,247 07年暫定基準	○	4,000 94.2%	7,163 169%	7,000 165%	7,000 165%

4,247,309

※1、※2は生産高当たりの原単位評価で使います。

グリーン購入については、活動報告には載りませんが、社員意識向上の為、取り組んでいます。

66期（2022年度）

2022年の目標値は、2021年度実績より見直した値で、生産量を同等と想定したものです

※今期より全体にも「東京営業所」追加。コピー用紙回収は活動表のみ。

※工場活動の飲料水缶回収・法規制対策は、実施と環境経営レポート報告のみ。

◇環境活動の取り組み計画と評価 【本社事務所】

取り組み計画	達成状況		単位(%) 基準年度比	判定	評価(結果と今後の方向)
				○×	
電力の削減	基準年度	10,439	kg-CO2		目標未達成
不在時消灯の徹底 冷暖房の控えめな使用 (冷28℃、暖20℃) 不在時のパソコン電源オフ	目標	3,779	-63.8	×	電気コストが今後かなり比率が高くなっていく 為、「みんな電力」から「関西電力」へ変更(期 間あり) 旧事務所と違い、Co2係数も違う為、来期は電 気の使い方を考えた対策活動としてやっていき たい。
	実績	9,083	-13.0		
一般廃棄物の削減	基準年度	392.4	kg-CO2		目標達成
ロス荷札ラベルの有効利用 缶・ビン・PETボトルの分別回 事務所一般ゴミ分別回収の徹底	目標	280.2	-28.6	○	3ヶ月で100kg程出た事もあったが、目標達 成!まだまだ削減出来るように分別をしていき たい。
	実績	43	-89.0		
水道水の削減	基準年度	1,104	m ³		目標達成
節水表示による意識向上	目標	120	-88.2	○	新事務所になってからの使用量は減った。新しく 使用のルールなど特別なにかやったわけでは無い が、平均的にも必要不必要で使用していきたい。
	実績	91	-91.8		
環境配慮製品の販売促進	基準年度	4,247	千円		目標達成
梅炭クレープ紙の拡販 循環型製紙の企画提案と営業強	目標	4,000	94%	○	循環型製品抄造、オーダーメイドなど今期は平均 年より多かったのが要因。来期も順調に売上を上 げていきたい。
	実績	7,163	169%		
自動車燃料の削減	基準年度	15,014	kg-CO2		目標達成
アイドリングストップ 急加速、急停止の防止 月当たりの走行距離調査	目標	3,904	-74.0	○	今後も使用時のアイドリングストップや長距離の 際の公共機関使用などを推奨する。又削減意識は 低いので、車のCO2対策も全社員で考慮してい きたい。
	実績	2,787	-81.4		

グリーン調達の推進 他			
グリーンマーク、エコマーク商品など、環境への負荷が少ない環境配慮型商品を購入する、及び環境配慮への取り組みなど。	活動内容		ボールペン、マジック、のり、テープ、修正テープ、各種詰め替え用、紙ファイル、クリアファイル、リサイクルトナー、省エネ型家電購入など。全部で19品目の購入など。来期の活動にどう活用するか問題、又購入ルールを決めた事により、他部署からのクレームも多々あるが、月2回まとめて発注するという事へ協力を願う。
	・社内環境改善活動（3S）を中心に、eco素材の商品・資材を購入／使用を目標に掲げる。 ・材料・器具・用品にグリーンマークがある商品の購入。		
[総括]			
- CO2削減 ： 電力・水使用量はほぼ限界点である。 車の使用は営業担当者も含め、公共交通機関を使い、事務作業などをあてがいながら、といった対応。 燃費換算でも前期よりかなり数字が良く、遠方含み公共交通機関の使用を推奨。 - 廃棄物の削減 ： 紙ごみの再資源化（分別回収）が徹底してきた。			
- 排水量の削減 ： 「節水」表示による意識付けと、まとめ洗いににより今後も無駄な使用を控える。 - 環境商品の販売促進 ： 目標達成。 今後は炭再生紙や循環型製品以外にもPELP!（ペルプ）製品もあるので 			

◇環境活動の取り組み計画と評価 【工場】

取り組み計画	達成状況	単位(%)		判定 ○×	評 価 (結果と今後の方向)
		基準年度比			
ボイラ燃料の削減	基準年度	1,780,518	kg-CO2		目標達成
ガス使用量のデータ収集	目標	1,700,001	-4.5	○	・ 薄物抄造時の蒸気圧の調整・蒸気配管保温管巻直し。 ・ 機械停止時、速やかなボイラーの運転停止 ・ 2号抄紙機薄物時⑦⑨⑪ドライヤー停止での抄造など。
蒸気漏れの保守点検・保温材装着	実績	1,447,418	-18.7		
効率の良い抄紙機運転					
「電力」の生産高当たりの使用量削減	基準年度	1,752,921	kg-CO2		目標達成
歩留向上 製造損紙率低減 加工ミス削減	目標	1,700,333	-3.0	○	①工場内の照明のオンオフの徹底の事 ②電極誤作動の無駄な水中ポンプ及びモーター類の作動をさせない事③各所モーターインバータ運転設定に見直し④定期的コンプレッサー点検と整備(効率低下させない)
電灯の数を減らす 不要電灯消灯	実績	1,427,485	-18.6		
蛍光灯の変更 明かり窓の設置	基準年度	0.943	kWh/kg		
冷暖房の控えめな使用(冷28℃暖20℃)	目標	0.943	0.0		
	実績	0.977	3.6		
排水放流の生産高当たりの使用量削減	基準年度	616,221	m ³		目標未達成
歩留向上 加工ミスの削減	目標	390,068	-36.7	×	1. 2号機同時の井戸水ポンプ運転をしない/排水ビットオーバー(水)などさせない、といった明確なルールで今後対応したい。
各ポンプのバルブ操作による削減	実績	957,101	55.3		
雨水の再利用使用水量削減の改善提案募集	基準年度	0.125	m ³ /kg/年		
	目標	0.100	-20.0		
	実績	0.422	237.6		
リフト燃料の削減	基準年度	24,513	kg-CO2		目標未達成
電気リフトへの変更	目標	11,000	-56.7	×	残念ながら未達成でしたが、来期も同様に毎月数値管理を徹底し、達成したいと思います。
急加速・急発進の防止	実績	11,437	-54.9		
倉庫レイアウトの見直し・変更					
通路の確保					
一般廃棄物の削減	基準年度	231,150	kg		目標未達成
弁当の割り箸をなくす	目標	200,014	-13.5	×	ポリ関係の改善実施をしていたが、未達成で終了。だが、今後も継続する事でエコな活動はしていきたい。廃棄関係が思っているより増えており、3Sから対策していきたい。
工程ロスの削減(歩留向上)	実績	248,310	7.4		
ポリラミ損紙目方の現状把握					
リサイクル先の開拓					
産業廃棄物の削減	基準年度	307,350	kg		目標未達成
原料流出の防止	目標	122,049	-60.3	×	未達成。問題点が見えてこない。抄き網のバックイン定期張り出しなど増加原因追及と並行して改善実施を進めていきたい。 来期は達成したい。
各ポンプ類の点検	実績	131,980	-57.1		
分別回収 購入原料の見直し					
節水(水道水)	基準年度	3,267	m ³		目標未達成
節水の呼びかけ	目標	2,604	-20.3	×	昨年施工した新トイレももしかすると水の使用量が多いかもしれないが、新事務所が工場側なので、目標数値も改めていきたい。
雨水の利用	実績	3,679	12.6		

◇環境活動の取り組み計画と評価 【東京】

取り組み計画	達成状況		単位(%)	判定	評 価（結果と今後の方向）
			基準年度比	○×	
コピー用紙の削減	基準年度	54			目標未達成
裏紙の使用、両面印刷の励行	目標	30.20	55.9%	×	10月計量分は前期分も含まれるため期中より当月発生分を月末に計量することに変更した。通常月においては1から2kgで推移するが大掃除や退職者が出ると片付けで多くの古紙が発生する。改めて普段からの発生抑制につながる取組や啓蒙の必要性が感じられた。
縮小印刷による枚数の削減	実績	40.00	74.1%		
プレビュー利用による印刷ミスの防止 使用済みコピー用紙の本社でのリサイクル					
一般廃棄物の削減	基準年度	60.0			目標達成
ロス荷札ラベルの有効利用	目標	35	58.3%	○	年間を通じて削減意識のもと、活動した結果あ数字に表れている。今後も分別とエコキャップ活動、水筒持参の励行は継続実施していく。
缶・ビン・PETボトルの分別回収	実績	31	52.3%		
事務所一般ゴミ分別回収の徹底 マイボトルの励行					
グリーン調達の推進 他					
グリーンマーク、エコマーク商品など、 環境への負荷が少ない環境配慮型商品を購入する、及び環境配慮への取り組みなど。	活動内容				ボールペン、マジック、のり、テープ、修正テープ、各種詰め替え用、紙ファイル、クリアファイル、リサイクルトナーなど。全部で19品目の購入など。 2名常駐にはなったので今後分担しつつ、エコ活動に努めたい。
	・社内環境改善活動（3S）を中心に、eco素材の商品・資材を購入／使用を目標に掲げる。・材料・器具・用品にグリーンマークがある商品の購入。				
【総括】					
今期途中に減員があり、離職者も出たので、営業所自体に人が居ない日数が増えている					
来期の東京営業所は3名体制となるが更なる改善と独自の取り組みも模索して実施、発信していきたい。					



環境関連法規制等の順守状況

P9

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音規制法・振動規制法	抄紙機、印刷機、空気圧縮機、スリッター
水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置法	抄紙機、排水処理設備
公害防止組織法	排水処理設備
大阪府生活環境条例（大阪府地下水汲み上げ制限）	製紙用水
消防法	原料置き場、少量危険物貯蔵所
フロン排出抑制法	スポットクーラー、空調機
毒物劇物取締法	抄紙用薬品類

順守評価の結果、順守されています。なお、関係当局より、違反等の指摘は、過去3年間ありません。
工場立地法の届出を随時予定しています。（緑化面積の問題）





環境活動の紹介①

— 脱炭素に於ける取組み —

P10



2019年に参加し
2050年までに再生エネルギー100%を目指す
RE:Action



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



About Us News & Events Contact FAQs SET A TARGET

How it works Set a target Companies taking action Sector guidance Resources Net-Zero Q

Sanyo Paper Co., Ltd.
Japan, Asia

Large

Small or Medium Enterprise

VIEW LESS ^

Date published/updated
2022

Target summary
Near term: 1.5°C by 2030

Target
This target was approved using a streamlined target validation route exclusive to small and medium-sized enterprises (SMEs). https://sciencebasedtargets.org/faqs-for-smes/
Sanyo Paper Co., Ltd. commits to reduce scope 1 and scope 2 GHG emissions 42% by 2030 from a 2020 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.

Sector
Forest and Paper Products - Forestry, Timber,
Pulp and Paper, Rubber

2050年のカーボンニュートラルに向けて
2030年までにCO2の排出量を2020年対比46%削減する
ことを公に宣言し、認定を受けたSBT

全社員でSBTの目標達成に向け、知恵を絞り邁進していきます。

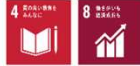


環境活動の紹介②

— 各種検定 —

P11

エコ検定と CSR 検定



製紙業は地球からの多大な恩恵を享受する産業です。だからこそ、私たちの会社の未来は、「循環型社会に貢献する」ことなしにありえないという信念を持つに至りました。
当社は経営理念や経営ビジョンの実現に向けて、「環境人財」の育成に力を入れています。

eco 検定

正式には、『環境社会検定試験』といい、東京商工会議所が開催しています。
2006 年 10 月に第一回の試験が行われ、以降毎年 7 月と 12 月に実施されています。試験の点数は 100 点満点で、70 点以上取れば合格で、合格した人は「エコビープル」として認定されます。

自然の恵みを享受して成り立つ製紙業
だからこそ、環境問題が最重要課題の
一つであることを認識し、エコな紙創
りを目指す、「エコビープル」たち。
今年は 2 名増えました。



エコ検定合格者率 : 91%
(2022年10月時点)

CSR 検定 (3 級)

企業や組織がサステナブル（持続可能）になるために、CSR の基本知識を身に付け、CSR 活動が企業価値を高め、NPO との協働の重要性、企業と社会が連携して社会的課題を解決する意味など、「CSR リテラシーの基本」を身につけることを目的としています。毎年 4 月と 10 月に試験が行われています。

循環型社会への貢献を掲げる「経営理念」の実現が CSR の取り組みにつながると考え、より理解を深めるため、全員合格を目指します。



CSR 検定合格者率 : 55%
(2022年10月時点)



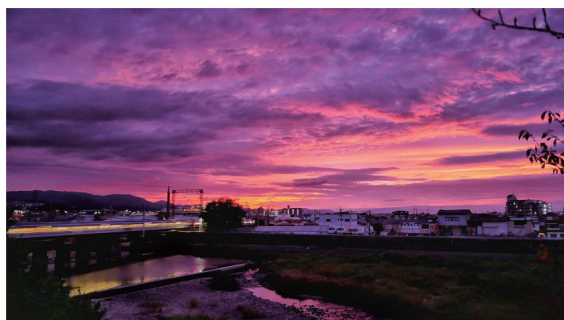
環境活動の紹介②

—アドプトリバー男里川とBCP訓練—

アドプトリバー男里川



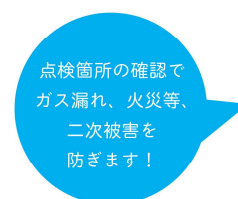
紙を創るのにかかせない、伏流水の供給源である男里川（おのさとがわ）。毎月有志で清掃しています。ゴミを拾ったり、草を刈り取ったり。魚や鳥の住みやすい環境をつくるために、地域の皆さまと協力して、毎月第二日曜日、朝8時から1時間ほど、活動しています。



BCP 訓練



BCP 訓練では災害（津波・地震）が起きた際の、その後の経営も含めた対策と避難を实际出来るかどうかの訓練を年一回、実施しています。有事の際の集合場所や持ち出しが必要なモノ・道具や避難経路に関する協議や再確認を行ったり、工場、事務所の被災後の要注意点検箇所の確認などを行っています。





環境活動の紹介④

— ドリカムスクールとCIESF（シーセフ） —

ドリカムスクール



「ドリカムスクール」は、企業が自社の仕事や仕事に
かける思いについて出前授業を行い、学生がその企業
から与えられるミッションの解決に向け、グループワ
ークで取り組むものです。地元への地域貢献と若手社
員の理念の浸透にも役立つと考え、NPO 法人 JAE 協力
の元、2016 年に初めて実施しました。それ以降毎年
開催しています。メンバーは事前に何度も集まって、
先生方の要望に対して何ができるか考えたり、学生に
伝えたいことなどを話し合い、毎回違ったオリジナル
プログラムを考えて実施しています。工場見学もこの
時ばかりは、先輩社員の手を借りずに、自分たちの案
内で誘導し、子どもたちに伝わるように、言葉を選んで説明しています。



CIESF（シーセフ）



2019 年 12 月、本社工場内に寄付機能付き自動販売機を 2 台設置しました。売上金の一部が公益財団法人 CIESF（※）を通じて、カンボジアをはじめとした途上国の教育支援活動に寄付されます。募金の総額は 24,111 円になります。（2020 年 9 月時点）

（※）公益財団法人 CIESF（シーセフ）は、カンボジアをはじめとした途上国の未来を支援する、非営利で国際的な民間の教育支援団体です。教育を中心とした本質的な支援活動を目的に、2008 年に一般財団法人カンボジア国際教育支援基金として設立されました。「真の愛情と情熱をもった世界レベルの教育者の育成」と「利他の心と国際的な視野をもった高度人材の育成」という理念に基づき、教育支援の「本質」について考えながら活動されています。



CIESF の活動の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

シーセフ

検索

<http://www.ciesf.org/>



環境活動の紹介⑤

— 委員会活動（3S, 脱炭素） —

当社には、5つの委員会（社風改善、環境改善、脱炭素経営推進、業績アップ、創客）があります。社員はいずれかの委員会に所属し、月一回集まり、それぞれの目標に向かって活動しています。

リサイクル活動と 3S



紙資源は社内でするもの、社員宅のものも含め、随時分別回収を行い、製品原料として使用しています（段ボール・雑誌・新聞紙・コピー用紙など）。アルミ・スチール・ペットボトル・キャップも分別し、資源回収を行っています。ペットボトルキャップは、5年前から回収を始め、現段階で、20,890 個リサイクル業者に提供しています。（業者様は 63 期変更）

また、3S（整理・整頓・清掃）による生産性向上と効率化、安全職場づくりも目指しています。3S 委員会は、大阪リエンジニアリング研究会で自社の取り組みの発表を行ったり、他社事例から学んで、自社に落とし込みをしています。関西では「3S サミット」というイベントが開催されており、弊社は毎年全員参加しています。

※ 3S は現「環境改善委員会」担当

● 資源回収箱



● 3S 風景



● 3S 改善提案書



大阪リエ研
参加中
(オンライン)



ゼロエミ活動と理念祭



弊社で使用する製品の原料は再生古紙と呼ばれるものです。一度何かの形で使われた後、回収されたものを購入しています。限りある資源を循環し、少しでもゴミを減らしたい。

62 期に発足したゼロエミ委員会は、63 期「4R」運動を実施し、原料スラッジ（粕）からミミズを育て、野菜を植える肥料を作るというユニークな取り組みを行いました。

理念祭は、「循環型社会に貢献する」という理念を共有し、深めるための 1 日として、その年ごとに理念委員会がテーマを決め開催しています。SDG s のカードゲームを行ったり、外部から講師を招いて学んだり、外部環境から内部の商品やサービス、生業までを全員で考えます。

※ゼロエミ⇒現「脱炭素経営推進委員会」

● 理念祭などのポスター



磯元さん

私がデザイン
しています。

● コンポスト育ちの植物



私が育てて
います。



吉ノ元さん



既存事業製品の紹介 —各種クレープ紙—

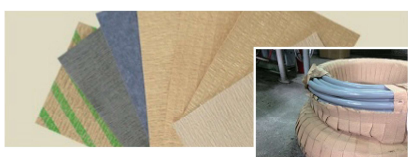
P15

クレープ紙とは、紙に刃をあてることで、シワを付け、強度と伸縮性を付加したものです。
製袋用については、市場の90%を当社製品がしめ、トップシェアです。



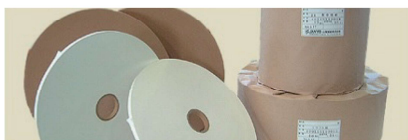
■製袋用

セメント袋・米袋の口縫い部分の紙として使用されています。
設立以来、60年以上作り続けています。



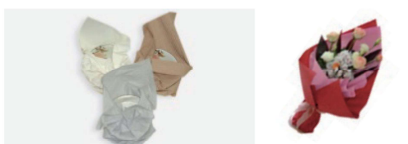
■包装用

ステンレス／鉄／電線の梱包・防錆資材として使用されてます。
糸入り一次クレープ紙は弊社独自技術で作られた商品です。



■層間紙

電子部品（リードフレーム、コネクター）関連の合紙として
一般クラフト、中性クラフト無塵紙などが活躍しています。



■引越専用包装資材

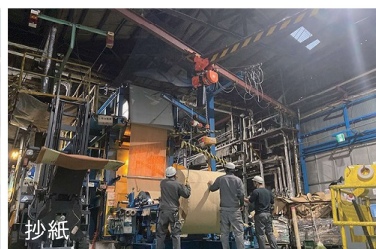
シワによる緩衝性や柔らかさを活かした包装資材で、「ちぢみ」と名付けました。ラッピング等に使用することも可能です。



クレープ紙を
作っている風景を
ご紹介します！



原料



抄紙



スリット加工



スリッター（層間紙）



平版断裁



包装



修繕作業



清掃点検



新事業の紹介①

— オーダーメイド、PELP! (ペルプ) —

P16

「こんな紙はできないか」にお応えするオーダーメイドの紙創り

山陽製紙には、古紙を再生する技術と抄き込みの技術があります。

私たちはお客様からよく、「こんな素材があるのだけれど、それを紙に抄きこんで機能紙をつくれませんか」や「こんな用途に使う紙を考えているのだけれどつくれるかな」などご相談を頂きます。

私たちの技術で、お客様の望みをかなえることができれば！そして、資源の再活用などによって社会問題の解決につなげることができれば！それが私たちの喜びです。山陽製紙では、2020年5月に **FSC®CoC 認証** を取得したため、製品に **FSC ラベル (※)** を付けることも可能です。紙創りから最終製品まで一貫して、一緒に思いの詰まった紙を作りたいと考えています。「こんな紙はできないか」そんなご相談をいつもお待ちしております。



※FSC 認証製品であることを示すため、製品上につけるロゴのこと

抄き込み事例：折り鶴、オーガニックコットン、コーヒー、粕、ぬか etc

●FSC ラベル使用可能商品●

不用なコピー用紙と FSC 認証古紙パルプを使った「PELP!PAPER」と名付けた再生紙と、製紙原料として FSC 認証古紙パルプのみを使って製造したオーダーメイド再生紙及びそれらの加工品。



FSC®CoC 認証について

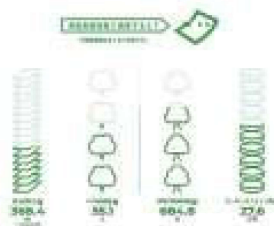
FSC 認証は環境、社会、経済の便益に適切、きちんと管理された森林からの製品を目に見え形で消費者に届け、それにより経済的利益を生産者に還元する仕組みです。認証は自主的なものであり、認定された独立した第三者認証機関による審査の後、規格を満たしたと判断された場合に発行されます。認証取得組織が認証範囲に登録し、認証された管理体制で取り扱っている製品にのみ認証製品として FSC ラベルを付けることが可能となります。FSC 森林認証には FM 認証（適切な森林管理）と CoC 認証（製造・加工・流通過程の管理）の2種類があります。CoC 認証は FSC 認証を受けた木材や原料が加工流通過程で、他の非認証製品と分別されているかを確認するものです。古紙の再利用についても、新しく木を伐採する必要がないため、間接的に森林保護につながると考えられています。

PELP! はコピー用紙を資源に変えるアップサイクルサービスです

2018年5月に“紙でエコする”の「KAMIDECO (カミデコ)」から“ペーパーヘルププロジェクト”の「PELP! (ペルプ)」に生まれ変わりました。不要なコピー用紙を専用回収袋「PELP!BAG」に入れ、山陽製紙に送ることで、今まで捨てられていた紙が、再生紙として生まれ変わります (PELP!PAPER)。PELP! 会員は紙を送付量に関わらず、その 100% 再生紙を使って「PELP!PRODUCT」を作ることができます。山陽製紙は、FSC CoC 認証を取得したため、PELP! 会員になると、自ら FSC 認証紙を作り、使うことができるようになりました。資源としてまだ使える紙が捨てられているのを何とかしたいという思いから生まれた「PELP!」。送った紙の総量や森林伐採削減量などの環境貢献指数が一目で分かるシステム、カミトレの閲覧や、環境活動にも貢献できます (1%FTP)。自社の CSR や SDGs にも活用できる、手軽なアップサイクルサービスです。



世界に先駆けて再生紙のトレーサビリティを可能にしました。どの企業で分別された紙が、どんな紙に生まれ変わったかなど、再生状況の全てが追跡可能に。再生重量総数を環境貢献指数に換算表示。



「1% FOR THE PLANET」は、自然環境保護の必要性を理解する企業の同盟です。「PELP!」を通じて生じた売上上の 1% は自然保護活動を行う団体に寄付されます。

捨てず、燃やさず、めぐる紙

紙を捨てることは簡単
その代わり、ごみは増える
紙を燃やすことは簡単
その代わり、資源は消える
あなたにとってはいらぬ紙
地球にとっては貴重な資源

少なくとも、多くても
再生紙創りを専門とする私たちが
不用なコピー用紙を回収し
地球の資源を救います

紙は生まれ変わり
あなたのもとにまた還る

捨てないで、燃やさないで
ふたたび、みたび、めぐる紙





新事業の紹介②

— SUMIDECO (スミデコ)、crep (クレプ) —



炭化させた種などを紙に抄き込み、炭が持つ優れた機能

SUMIDECO を生かした再生紙

日本古来の健康食品として名をはせている『梅』。我が社はそのブランドである「南高梅」の産地のほど近くに 있습니다。美味しい「南高梅」は、世界中の人に愛されていますが、一方で、加工業者から出る梅の種が産業廃棄物としてその処分が問題となっていました。そこでその種を「炭」にして、用途を広げるために紙の中に抄きこめないと依頼がありました。弊社は独自の製法で、梅の種の「炭」を紙の中に抄き込み、「炭」の機能を持った紙に生まれ変わらせました (sumideco paper)。その再生紙のプロダクトブランドが「SUMIDECO (スミデコ)」です。

※炭の持つ優れた機能

- 脱臭・消臭効果
- 防カビ・抗菌効果
- 除湿・調湿効果
- VOC・ホルムアルデヒド吸着効果
(※エチレンガス吸着効果による)

しおり

SUMIDECO
product

sumi
eco KuKKu

靴用消臭シート

「不用になったモノを捨てずに再活用し、よりよいものにする (アップサイクル)」というコンセプトを基に独自技術で産業廃棄物を炭化し配合した「炭再生クレープ紙：sumideco paper」。炭の機能性を活かした (※)、靴消臭シート「エコック」を販促用として展開したり、独特の風合いを活かして、「SUMIDECO」として、ブックカバーなどの製品も手がけています。「古紙・炭・水」だけで作られたエコロジなプロダクトです。



crep

工業用クレープ紙の特徴を活かした、「自然を楽しむ」
アップサイクルブランド

“自然をもっと楽しもう”をコンセプトに生まれた紙のプロダクトブランドです。紙製レジャーシート「ピクニックラグ」などの crep (クレプ) の商品は、電線の包装等に使用される再生紙「工業用クレープ紙」の高い強度を活かしており、紙にも関わらず繰り返し使えます。紙ならではの素朴な風合いと親しみやすいデザインが、ピクニックなど自然を楽しむアクティビティをやさしく彩ります。

crep は、使い捨てではない新しい紙の可能性を広げながら、人と自然のより良い関係について考え続けていきます。

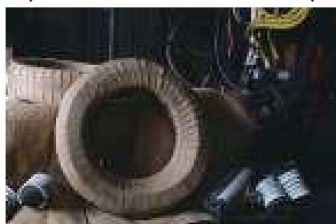
【受賞履歴】

2017年 ベストバイヤーズチョイス/インテリアライフスタイル東京、大阪製ブランド認証

2018年 グッドデザイン賞 2018

2020年 ソーシャルプロダクツアワード2020 ソーシャルプロダクツ賞

／ 普段、電線を包装している紙が ／ おしゃれなレジャーシートに！ ／





工場見学＆紙抄き体験 & オンラインショップ、SNSのご案内

工場見学について

サステナブルな社会を目指して、**分別された紙のその先を広く知ってもらい、資源の大切さを伝えたい**と、2016年5月に本社にギャラリーを併設し、本格的に工場見学を始めました。2016年5月～2019年6月の約3年間で120件、720人を突破しました。中小企業としては珍しい再生可能エネルギー（FIT）や排水処理などの設備、再生紙の製造過程の見学ほか、**循環型製紙を目指す思いや背景を伝え、資源や環境への理解を深めてもらうきっかけにしたい**と考えています。リサイクルやアップサイクルに興味のある日本や海外の企業、研究などのために大学生の見学もあります。再生原料を使用した紙抄き体験も行っているのも、夏休みには親子連れで子どもの自由研究や大人の社会見学としても利用されています。今年はコロナ禍により、工場見学は一時停止していました。現在は、定期的なアルコール消毒等、感染症対策を行うことで、工場見学の受付を再開しています。



紙抄き体験はイベント等での出張対応もしています。

内 容 : 山陽製紙の再生紙工場とギャラリーを見学
人 数 : 10名まで
所要時間 : 約30～50分
見学可能時間帯: 平日 水、木、金 / 9:00～15:00 開始
追加オプション: 紙抄き体験 (約1時間)
※お申込みや詳細につきましては、下記をご参照ください。
<https://www.sanyo-paper.co.jp/factory-tour>

オンラインでの販売や SNS について

オンラインショップ「紙と暮らす、エシカルストア RePePa(リペパ)」

<https://repepa.com/>

山陽製紙の公式オンラインショップです。自社のアップサイクルブランド商品を販売しています。



Instagram「山陽製紙株式会社」
sanyo_paper

山陽製紙の総合最新情報をアップしています。



Instagram「Repepa」

repepa_sanyopaper

Repepa で販売する商品の情報や使い方提案などをアップしています。



Instagram「かおラグ」

kao_rug

「かおラグ」で作った「かお」をアップしています。作品は、随時募集中です。



Twitter「Repepa」

@Repepa_sanyo

いろいろな情報をアップしています。キャンペーンなども行っています。





総括

—代表者による全体評価と見直し、今後の展望—

P19

65期も前年度に引き続いて新型コロナ感染拡大が続く中、取り巻く経営環境はロシアのウクライナ侵攻などの影響による原燃料価格の高騰や為替相場の急激な変動により、混沌とした状況が続きました。しかし全社員が一丸となって環境経営、経営改善に取り組んだ結果、大きな成果を生み出しました。
中でも特筆すべき事項は中小企業版のSBTの認定と100%再生可能エネルギーへの転換です。SBTの認定を受けたことは我が社が脱炭素経営を推進し、2050年のカーボンニュートラルに向けて2030年までにCO2の排出量を2020年対比46%削減することを公に宣言したことになります。EA21の認証を取得して以来、14年間で確実にCO2排出量は削減されてきましたが、これから目標達成までの道のりは並大抵ではありません。しかし本年度、従来のFITを活用した再生可能エネルギーの使用を非化石証書付き100%再生可能エネルギーに切替えたことにより、CO2削減目標達成の道筋が見えてきたと確信しています。全社員でSBTの目標達成に向けて知恵を絞り邁進しましょう。

山陽製紙株式会社
代表取締役

原田 六次郎



また、地域貢献の一環としてスタートした地元の小学校への出前授業も6年目を迎えました。本年度の樽井小学校のドリカムスクールでは子供達が先生や家庭の父母を巻き込んでリサイクルに挑戦し、給食で使った牛乳パックを自分たちで洗浄してリサイクルする案が持ち上がり、実行に移しました。そのような子供達の期待に応えるべく、回収した牛乳パックを原料にした再生紙を子供達が卒業する前に身近なステーションリー（ノートや画用紙）にして返したいと思います。そしてそのような取り組みが地元泉南市の小学校全体に広がるように次年度も尽力しましょう。

さて、「捨てず、燃やさず、めぐる紙」をコンセプトとした会員制プロジェクトであるPELPIは（株）フォーバル様、キンコーズ・ジャパン（株）様との業務提携がなされました。そして昨年度スタートした会員企業同士の情報交換の場であるPELPIパートナーミーティング（PPM）も回を重ねています。お互いの強みを活かしながら会員の拡大を図り、紙の循環の輪を広げたいと思います。一方、自社内の環境活動の結果を振り返ると全社的なCO2の削減は目標達成できたものの、本社事務所においては残念な結果になっています。これは削減に対する情報共有と具体策の不足が原因と考えます。室内の温度設定、照明の調整、パソコン不使用時の対応など、きめ細かい情報共有と具体的な対応を期待します。また、廃棄物の削減は一般廃棄物、産業廃棄物共に目標未達成です。中でも永年の懸案となっていた製紙スラッジの有効活用については、これまでセメントの増量剤としてのみ使用されてきましたが、このたび若手社員の発案により大阪府の新事業支援Vチャレンジに採択されました。若手社員の頑張りによるスラッジの商品化も期待しています。

次年度（66期）も全社一丸で環境経営に邁進しましょう。



これからも美しい自然を守り、後世に残すため、「循環型社会」を目指し、



「自然を守る活動」や「地球環境負荷低減活動」に全社員で取り組みます！

